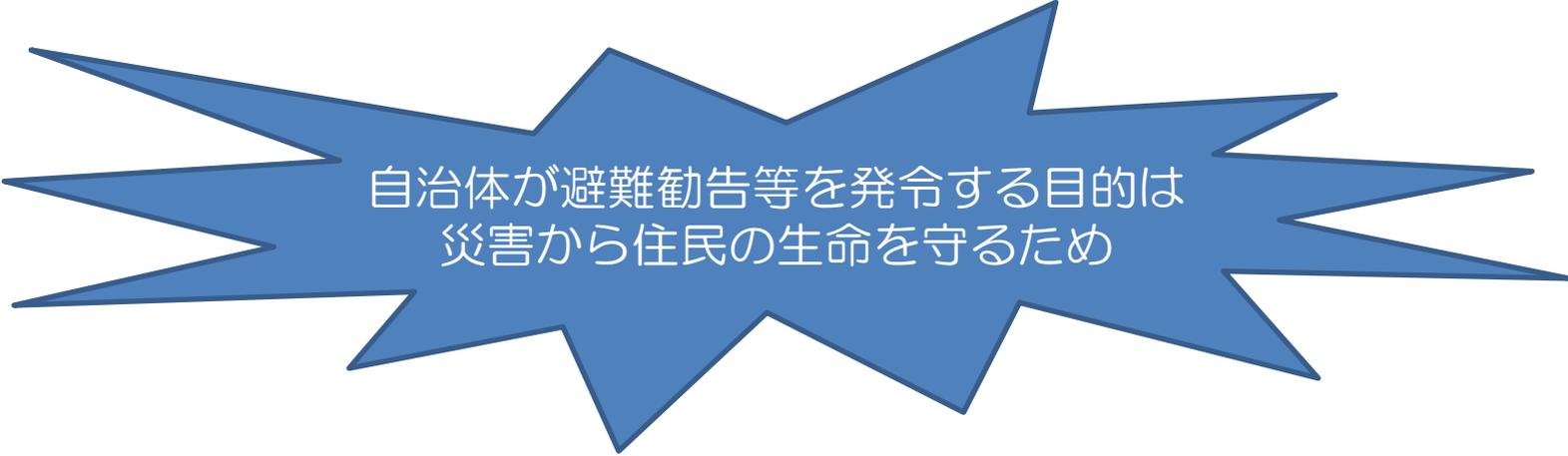




今治市における災害 時の避難勧告等発令 について

平成30年10月4日

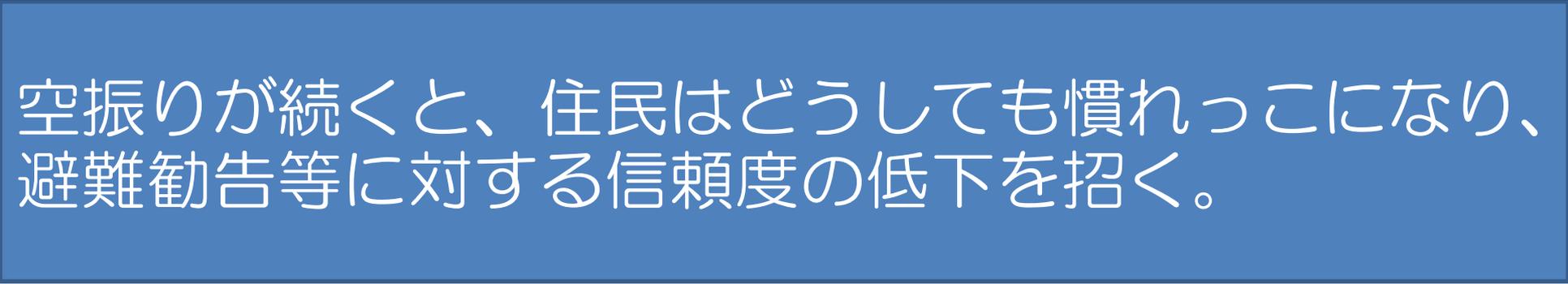
避難勧告等は、空振りをおそれず、早めに出す



自治体が避難勧告等を発令する目的は
災害から住民の生命を守るため



ただし!



空振りが続くと、住民はどうしても慣れっこになり、
避難勧告等に対する信頼度の低下を招く。

実際に発令をする際には

大きな地域に発令するのではなく、
出来る限り地域を絞り込み、
より確実な情報にして、
情報の信頼度維持に努めることが
必要。

避難勧告等のフラグが立ってから、
実際に発令するまでには、
慎重な多くのアナログ作業



たとえば

土砂災害判定メッシュ情報

河川砂防情報システム

必ずお読みください (解説と利用方法)

地図の凡例

観測時刻 2017年05月15日 18時30分

観測時刻の表示切替え
<戻る 進む> 時刻指定 最新

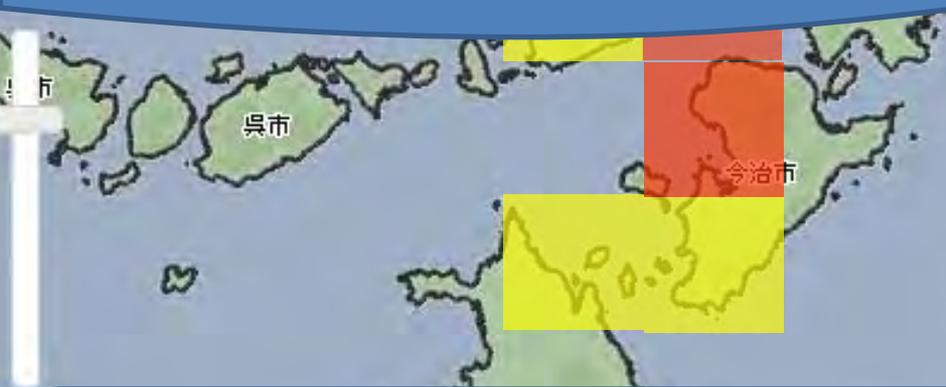
スケール指定
250000 +拡大 -縮小

地図に重ね合わせる情報の選択
地図情報の選択

凡例 危険度レベル
■ 現在基準値を超過
■ 1時間後に基準値を超過
■ 2時間後に基準値を超過

5kmメッシュは広範囲にわたるため、一つのマスの中には海岸から山間部まで多くの地域が含まれる。

どの作業も ミスは許されない



	自分の安全を確保す	
	<予想で土砂災害警戒情報の基準*に到達> 土砂災害がいつ発生してもおかしくない 非常に危険 な状況。速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。	避難勧告
	<実況または予想で大雨警戒の基準に到達> 土砂災害への 警戒 が必要。避難準備をし、早めの避難を心がける。	避難準備・高齢者等避難開始
	<実況または予想で大雨注意報の基準に到達> 土砂災害への 注意 が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	-
	<実況及び予想で大雨注意報の基準未達> 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意	-

不必要な発令を防ぐため、5kmメッシュ情報が出たら、そのメッシュにどういう地域があるのか？ その地域の状況は？ などなど、詳細な発令区域の絞込みには、想像以上の時間を要する。

更に、防災行政無線や緊急速報メール等、アラートを含む様々な情報伝達手段へのオペレーション

報を発表していますが、

危険

意

まとめ

避難勧告等の発令は非常にデリケートであり、確実な情報が求められる。

発令までには、多くのアナログ作業を慎重に進めなければならない。

以上

要望事項

避難勧告等発令情報や避難所情報等について、新たな情報と既に発令済みの情報とを分けて表示してほしい。

- ・例えば、避難所を追加開設する場合、前回との差分だけでなく、既開設箇所を含めて表示されるので、別途わざわざ補足情報を入力する必要がある。
- ・文字情報の入力作業に手間をとられる上、人為的ミス
の危険性がある。